

授業科目名	合唱Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・ⅧC	担当形態	演習 クラス分け		
		開講学期	秋学期		
担当教員	大田 亮子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

作品の実習を重ねながら合唱音楽の魅力を探っていき、「共に歌う」ことにより互いの感性を認め、一人ひとりが自分のパートをより理解し、ハーモニー感やパートの響きを整える感覚を磨くことが出来る。
音楽に対する理解をさらに深め、音楽表現をより豊かなものへと高めていくことを目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を忘れないこと。忘れた場合は、出席者同士で事前にコピーをして授業に臨むこと。
遅刻・早退・途中退室は二回で欠席一回とする。
また授業時間の半分の時間（45分）を超過しての遅刻・早退・途中退室は欠席扱いとする。
授業中の携帯端末使用は禁止とする。

＝授業の概要＝

山田耕筰氏が作曲した童謡、歌曲に焦点をあて、日本語の抑揚を活かしたメロディーに触れる。
作曲家、作詞者、曲の背景などを調べ、詩の朗読を通して、曲への理解を深める。
演奏発表をするにあたり、グループで話し合い、ハーモニーを確認し、作品に向かい合う。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 「鳥の番雀の番」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 3回 「夕やけ雲」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 4回 「かえろかえろと」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 5回 「電話」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 6回 「つばめ」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 7回 「すかんぼの咲くころ」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 8回 「洗濯姫さん」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 9回 「砂山」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 10回 「待ちぼうけ」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 11回 「松島音頭」楽曲考察、詩朗読、音取り、歌詞付、歌い込み
- 12回 グループ発表、発表曲選曲、グループによる練習
- 13回 グループによる練習
- 14回 グループによる練習、リハーサル
- 15回 グループによる演奏発表、まとめ

習熟度により授業の内容を変更する場合があります。

＝テキスト（必携）＝

書籍名：女声合唱のための山田耕筰作品集「からたちの花」[増補新版]
著者名：編曲…増田順平
ISBN：978-4-7609-2945-0

＝参考書・参考資料（必携）＝

参考資料は、印刷物を配布。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業の最終回に行うグループ演奏発表において、課題に対する取り組み方、積極性、音楽的表現を評価し、授業態度、出席状況を加えて総合的に判断します。

＝その他＝